

■記者リリース

2012年12月3日 Nuclear Free Now UPDATE

=====
12月15～16日、衆院選挙・都知事選挙にあわせて
脱原発を求める最大規模の総合イベント「Nuclear Free Now」を開催します

<http://npfree.jp/>

- =====
★政党の枠をこえ、政治家からメッセージ続々
★世界会議プログラム発表、チケット発売

東日本大震災と福島原発事故後、はじめての総選挙。
最大の争点は原発です。
日本の市民の圧倒的多数は、脱原発を求めています。
世界中の市民が、それを応援しています。
日比谷と郡山で開かれる「Nuclear Free Now」は、それを目に見える形にします。

Nuclear Free Now 概要のご案内 (UPDATE 12月3日現在)

- Nuclear Free Now は、「脱原発世界会議2」や「さようなら原発世界大集会」
「脱原発世界大行進2」などが組み合わさった参加型の総合的イベントです。
- 政党の枠をこえて、多数の国会議員から Nuclear Free Now への応援メッセージ
が届いています。
12月3日午後6時現在：
菅直人(民主)、江田五月(民主)、くしぶち万里(民主)、阿部知子(未来)、
岡本英子(未来)、志位和夫(共産)、笠井亮(共産)、福島みずほ(社民)、
山内徳信(社民)、川田龍平(みんな)、加藤修一(公明)ほか計25名
http://www.npfree.jp/message_politician.html
今後も続々増える予定
- 「脱原発世界会議2」のプログラムが決まり、チケットが発売になりました。
<http://www.npfree.jp/global-conference2.html>
世界的に著名なエネルギー政策コンサルタント・マイケル・シュナイダー、原子
力規制のあり方について米国の原子炉専門家ポール・ガンター、チェルノブイリ
の健康影響についてロシア科学アカデミーのアレクセイ・ヤブロコフらの専門家
に加え、国民投票で原発を止めたイタリアやリトアニアからのゲスト、韓国や台
湾の反原発運動家らが集まります。チケットは1セッションあたり前売1200
円。(メディア向けの登録は別途、近日中に始めます。)
- これら国際ゲストの記者会見を12月14日(木)に東京と福島で同時に開催
する予定です。詳細は追ってお知らせします。
- 12月15～17日の「原子力安全福島閣僚会議」(郡山ビックバレット)に関連し、
フクシマ・アクション・プロジェクトが事前に外務省に申し入れを行いました。
その結果、閣僚会議の期間中、郡山の会場内または会場近くで、福島の被災者の
IAEAに対する要望書を提出し、政府とIAEAはそれを受け取るということが
決まりました。

詳しいお問い合わせは

03-3363-7561 Nuclear Free Now 実行委員会(ピースボート気付)

office@npfree.jp